

現 内田小6年生静岡ブルーレヴズとのラグビー体験教室 現役選手に体当たりで挑む



1 ジャンプしてボールをキャッチする 2 腰につけたタグを奪うために追いかける 3 現役選手の見事なタックル 4 チームワークを意識してボールリレー 5 子どもたちもタックルに挑戦 6 質問に答える選手の皆さん

9月26日、内田小学校でプロラグビーチーム静岡ブルーレヴズによるラグビー体験教室が行われました。市と同チームの連携協定に基づく連携事業の一環です。育成普及担当の藤井達也コーチと、現役選手3人が講師となり、6年生41人がラグビーに初挑戦しました。

藤井コーチが、ラグビーの基本動作を現役選手の実践と共に紹介した後、児童たちはタグラグビーに挑戦。藤井コーチから教わった「チームワークを大事にすること」を意識して、活発に声を掛け合いながら練習に臨んでいました。練習後、児童たちが、ラグビーを始めたきっかけや、普段どのようなトレーニングをしているかなど、積極的に質問すると、選手は一つひとつ丁寧に答えていました。

命 応急手当協力事業所認定証交付式 をつなげる担い手

9月9日、消防本部で応急手当に関する正しい知識と技術の習得に積極的に取り組んでいる事業所に、応急手当協力事業所認定証が交付されました。救命率の向上を目的とした応急手当協力事業所認定制度で、一定の条件を満たす事業所に対して交付されるものです。今年度は新たに5事業所が認定され、各事業所の代表者に認定証と認定表示板が交付されました。これにより平成25年度の運用開始から、55事業所が地域の応急手当普及啓発活動の担い手となりました。



▲ 認定証を受け取った事業所の代表者

若 若手職員対象の「課題解決型研修」 手の力で課題を解決

9月9日、市と静岡鉄道(株)の連携による「課題解決型研修」が、若手職員を対象に開催されました。市の若手職員4人と同社入社4年目の社員16人が参加。市内事業者への事業提案などを通じた、企画発想力の習得などを目的に、全3回の日程で実施予定です。初回のこの日は、市内の企業4社をグループに分かれ訪問し、各企業が抱える課題などをヒアリングしました。その後、若手職員は各企業の課題解決のために取り組むテーマを話し合い、発表しました。



1 市内企業から課題を聞き取る 2 取り組むテーマを発表